B8571100

OGK 籐風うしろ子供のせ<RBC-006N> 取付取扱説明書

取扱い注意事項 この説明書は、ご使用の前に必ずお読み下さい。読まれた後は大切に保管して下さい。

⚠警告:お子様の足部安全の為、後ろ車輪に必ずドレスガード(巻込み防止ネット)を装着して下さい。

●適用年齢:2～5歳くらいのお子様 ●適用体重と身長:体重約13kg未満、身長100cm以下(クラス18後ろキャリヤ使用時)、体重約20kg未満、身長115cm以下(クラス25後ろキャリヤ使用時)※取付ける前に自転車又は、後ろキャリヤの取扱説明書をよく読んで後ろキャリヤの積載重量をよく確認し、子供のせ取付を禁止している後ろキャリヤには取付けないで下さい。(子供のせが取付可能な後ろキャリヤに取り替えて下さい。)●適合車種:後ろキャリヤの幅が150mm以上173mm以下の22～27インチ婦人車、軽快車(※両立スタンド装着車に限る。※ドレスガード付自転車に限る。)注意:※ご使用になられるお子様の年齢及び体格を確認し、指定範囲以外のご使用はしないで下さい。

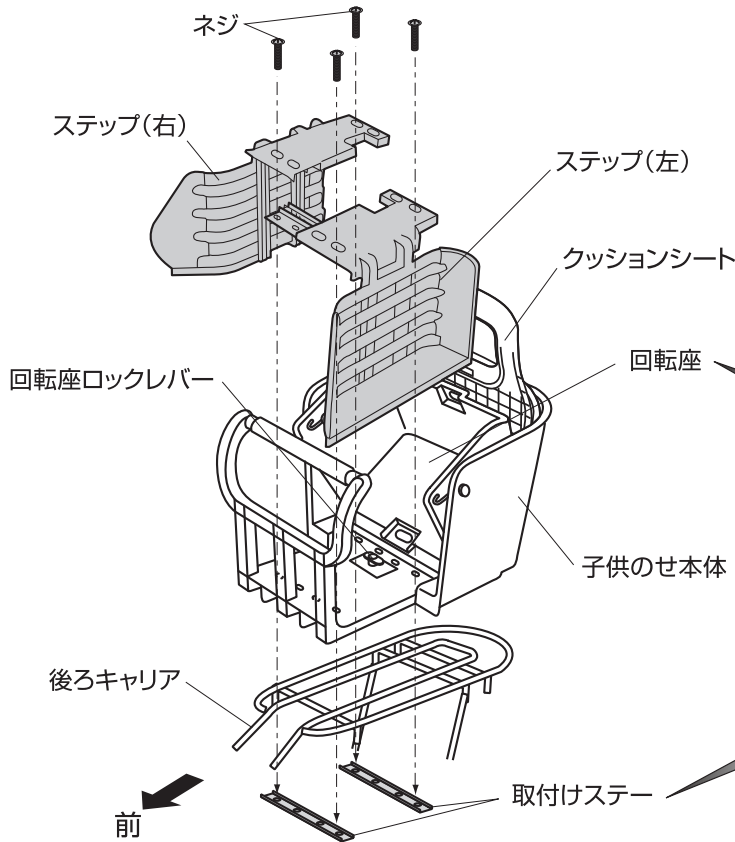
警告

●これは自転車用のうしろ子供のせです。他の目的に使用しないで下さい。●取付けは専門業者にお申し付け下さい。●一本スタンドの自転車には取付けしないで下さい。必ず、ロック付の両立スタンドをお使い下さい。●自転車の取扱説明書をよく確認して、その自転車が強度的に耐えるものかどうかをよく確認して、自転車の取扱説明書に記載が無い場合は自転車店にご相談下さい。又、一般の自転車に取り付けられている後ろキャリヤでは十分な強度が無いものがありますので、この場合には、自転車販売店で十分な強度のある後ろキャリヤ(クラス25)に交換して下さい。●自転車に取付ける子供のせは1つに限ります。●自転車に同乗させるお子様は1人に限ります。●お子様の足部安全の為、必ずドレスガードと併用して下さい。後車輪にドレスガードの付いていない自転車には必ずドレスガードを取付けて下さい。●使用中、お子様の手足が届く範囲に自転車錠がある場合は、錠が作動する場合がありますので、その位置には充分注意して下さい。●子供のせの取付位置はペダルを漕いだ時、運転手のかかとが子供のせに触れない場所に取付けて下さい。●自転車に子供のせを取り付け、お子様を同乗させることにより、自転車のハンドル操作や走行安定性を損ない、ブレーキをかけた時には制動距離が長くなります。●使用する時は子供のせの取付けが確実であることを確認し、破損、変形等したまま使用しないで下さい。

注意

●お子様を乗せたまま絶対に自転車から離れないで下さい。(目をはなしたすきに、転倒等で怪我をなさると大変です。充分ご注意下さい。)●お子様を乗せたまま自転車から短時間であっても手を離さないで下さい。●お子様を乗せおろしする時は必ず平坦な場所でスタンドをロックして行って下さい。●お子様を子供のせに乗せる時は荷物等を積んだ後にのせ、おろす時は荷物等をおろす前にお子様をおろして下さい。●お子様には必ず靴を履かせて下さい。●お子様を乗せる時には、お子様が正しい姿勢であることを確認し、特に足部が車輪等に巻き込まれないようその位置に留意して下さい。●シートベルトが車輪に巻き込まれないように注意して下さい。●お子様を乗せる時は必ずシートベルト(肩ベルト・腰ベルト)を使用して下さい。●子供のせを雨ざらしにしないようにお願いします。●お子様には適正なヘルメットを着用させて下さい。ヘルメットを着用させないで子供のせにお子様を乗せると事故のときに致命的な障害を受ける確率が高くなります。又、運転なさる方も出来るだけヘルメットを着用して下さい。●お子様の首にシートベルトがかからないよう留意して下さい。●乗車及び走行中はお子様がニギリをしっかり握るように留意して下さい。●お子様が眠らないように注意して下さい。●走行中は急ブレーキ、急ハンドルは避けましょう。●悪路走行やアクロバット走行を行わないで下さい。●火気高温に近づけないで下さい。●ヨゴレは水を含ませた雑巾等で拭取って下さい。●シンナー・ベンジン等は付着させないで下さい。●シートベルトの寿命は約2年です。必ず定期的に適正なシートベルトと交換して下さい。(有料)●使用にあたっては交通法規を守られますようお願いします。

取付け方

本体を後ろキャリアにのせ、取付位置を決め、ステップ右とステップ左を本体に乗せて子供のせ本体と後ろキャリアをステップと取付ステーで挟むようにしっかりとネジで取付けます。※回転座を少しずらすと作業しやすくなります。

⚠注 意

自転車のリヤリフレックスリフレクタ(後ろ反射板)の後方からの視認を妨げていないかよく確認し、妨げないようにして下さい。

シートベルトの着脱

注意:シートベルトはねじれの無いようにして下さい。

外す時

バックル(凹)に差込まれているバックル(凸)を押して外します。

止める時

肩からのシートベルトのWバックル(凸)は重ね、腰からのバックル(凸)はそのまま、それぞれバックル(凹)に差込みます。

装着後は必ずしっかりと固定されているか上下左右にゆすって確認してから走行して下さい。

製造・販売 オージーケー技研株式会社 577-0066 東大阪市高井田本通6丁目2-32 TEL:06-6782-4353(代)
E-mail:info@ogk.co.jp ホームページ:http://www.ogk.co.jp